

## 第XX回 清水基金海外研修事業申込書

申込日 20XX年10月10日

研修区分	■ 初研修（海外研修未経験） □ 再研修（過去に参加経験あり）				
氏名	しみず たろう		年 生 年 月 年 齢	19XX 年 11 月 28 日	
	清水 太郎			XX 歳 ※申込時の年齢	
メールアドレス	※選考の案内等が受信可能なメールアドレスをご記入ください（携帯キャリアアドレス不可） <a href="mailto:shimizukikin@gmail.com">shimizukikin@gmail.com</a>				
自宅住所	〒 123-1111 東京都XX区XXXXXXXXXX			自宅電話	
				携帯電話	080-XXXX-XXXX
職種	相談支援専門員			障害福祉 経験年数	10 年
国家資格	社会福祉士、精神保健福祉士				
所 属	法人名	しゃかいふくしほうじんしみずふくしかい しみずのさと			
	事務所名	社会福祉法人清水福祉会 清水の郷			
	事業所 住 所	〒 103-0027	事業所電話	03-3273-3503	
		東京都中央区日本橋3-12-2			
研修希望	期 間	※期間は30～90日間より選択 34 日	研修国	※原則3ヶ国以内 スウェーデン、イギリス	
テ ー マ	障害者の地域定着を支える相談支援体制の国際比較				
言 語	英語	TOEIC 点 英検 級 レベル：C. 挨拶・自己紹介・旅行程度の意思疎通ができる			海外 渡航 経験
	その他				
健康状況	健康（非常に健康／良好）				
知 っ た き っ かけ	清水基金からの郵送案内				

※本研修申込に伴いご提出いただいた個人情報は、本研修（選考、研修、研修報告、研修に付随する事務手続き）にのみ使用します。

再研修応募者（過去に研修への参加経験がある方）のみ記入してください

参加回	XX回	時期	20XX年4月
当時の所属 (法人名/事業所名)			
前回の研修について	研修テーマ		
	研修国		
	研修目的		
	研修内容		

研修テーマ 「障害者の地域定着を支える相談支援体制の国際比較」

法人名： 社会福祉法人清水福祉会 清水の郷

氏名： 清水 太郎

## 1. 海外研修に志望した理由

私は、社会福祉法人清水福祉会「清水の郷」において、障害のある方が地域で安心して生活を継続できるよう、相談支援業務に携わってきました。主に、サービス等利用計画の作成や関係機関との調整、地域生活への移行・定着に向けた支援を担当しています。

日々の実践を通じて強く感じているのは、障害者の「地域移行」だけでなく、その後の地域定着をいかに支えるかが相談支援専門員にとって極めて重要な課題であるという点です。制度上は地域生活に移行できていても、孤立や支援の形骸化、本人不在の支援会議などにより、結果として不安定な生活に陥ってしまうケースも少なくありません。こうした状況の中で、相談支援専門員がどのような立場と権限をもって関わるべきか、自身の実践に課題意識を抱くようになりました。

日本の相談支援体制は、制度や報酬上の制約もあり、相談支援専門員が十分に中立性や専門性を発揮しきれない場面も多いと感じています。一方、海外では、本人主体の意思決定支援や権利擁護を中核に据え、相談支援が地域生活の継続を支える重要な基盤として位置づけられている国や地域があることを知りました。

本研修では、「障害者の地域定着を支える相談支援体制の国際比較」をテーマに、海外における相談支援専門職の役割、支援体制、関係機関との連携の在り方を学びたいと考えています。特に、本人の意思決定を尊重しながら地域での生活を支える仕組みや、相談支援の独立性を担保する制度設計について理解を深め、日本の相談支援実践と比較・検討したいと考えています。

海外研修を通じて得た知見を、自身の相談支援実践に活かすとともに、所属法人や地域に還元し、地域定着支援の質の向上につなげていくことが本研修への志望動機です。

## 2. 研修テーマについて

### ■目的

本研修の目的は、障害者が地域で安定した生活を継続するために必要な相談支援体制について、海外の実践および制度を調査・比較し、日本の相談支援専門員による支援の在り方を再検討することである。

特に、海外における相談支援専門職の役割や権限、本人主体の意思決定支援の仕組み、関係機関との連携体制に着目し、地域定着を支えるための具体的な支援方法や制度的背景を明らかにすることを目的とする。

また、制度や文化の違いを踏まえつつ、海外の相談支援体制から日本の相談支援実践に応用可能な要素を抽出し、地域における相談支援の質の向上および相談支援専門員の専門性強化につなげることを目的とする。

■内 容

①研修希望期間 34 日間

②具体的な研修機関および内容

国名	研修機関名	研修内容	期間	仲介・紹介者
スウェーデン	STIL (Stockholm Cooperative for Independent Living)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立生活運動に基づく地域生活支援の理念と実践</li> <li>・本人主体の意思決定支援の考え方</li> <li>・相談支援的役割を担うコーディネーターの機能</li> <li>・当事者主体の支援体制が地域定着に果たす役割</li> </ul>	8日間	連絡中
スウェーデン	ストックホルム市社会福祉局 (Social Services Department)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体における相談支援体制と役割分担</li> <li>・多職種連携 (医療・住宅・就労) の実際</li> </ul>	3日間	現地自治体／研修受入機関
イギリス	ケント州議会 (Kent County Council) Adult Social Care	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジメント制度と相談支援専門職の位置づけ</li> <li>・地域定着を支えるアセスメントと支援計画</li> <li>・本人参加型ケース会議の運営方法</li> </ul>	5日間	連絡中
イギリス	VoiceAbility (全国規模の独立アドボカシー団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護・意思決定支援の実践</li> <li>・独立アドボケイトと相談支援の役割分担</li> <li>・地域生活における第三者支援の重要性</li> </ul>	5日間	現地NPO法人

### ③帰国後の取り組み

本研修で得た知見は、相談支援専門員としての個人の実践にとどめることなく、所属法人および地域全体の相談支援の質向上につなげていく。

#### 1. 法人内における取り組み

帰国後は、海外における本人主体の相談支援、意思決定支援、地域定着を支える支援体制の実践を踏まえ、所属法人内での相談支援のあり方を見直す。具体的には、サービス等利用計画作成において、本人の意思や希望をより丁寧に引き出す面談方法や支援会議の進め方を取り入れ、形式的な計画作成にとどまらない実践を目指す。

また、法人内の相談支援専門員や支援職員を対象に、研修報告会や勉強会を開催し、海外の相談支援体制やアドボカシーの考え方を共有する。特に、相談支援専門員の専門性や独立性、他職種との役割分担について議論を深め、法人全体として地域定着支援を意識した支援体制の構築につなげていく。

#### 2. 地域における取り組み

地域レベルでは、基幹相談支援センターや関係機関との連携の中で、海外研修で学んだ本人主体の支援や意思決定支援の考え方を共有し、地域における相談支援の質向上を図る。特に、本人参加型のケース会議の運営方法や、第三者的立場による権利擁護・アドボカシーの活用について、実践的な提案を行う。

さらに、地域移行後のフォロー体制や地域定着支援の在り方について、関係機関と意見交換の場を設け、相談支援専門員が地域生活の継続を支える調整役として機能できる体制づくりに貢献したいと考えている。

これらの取り組みにより、障害者が地域で安心して生活を継続できる相談支援体制の構築に寄与するとともに、相談支援専門員が本人主体の支援を実践できる環境づくりを進めていく。海外研修で得た学びを、法人および地域に還元することで、持続可能な地域定着支援の実現を目指す。

## 英語自己紹介文

Name : Taro Shimizu  
Corporation : Social Welfare Corporation Shimizu Fukushimai

ご自身及び研修テーマについての紹介を、すべて英語で表現してください。

### ①自己紹介

※職種や仕事内容、趣味などを英語で記載してください。

I work as a consultation support specialist at Shimizu no Sato, which is operated by the Social Welfare Corporation Shimizu Fukushimai. My primary role is to support persons with disabilities in living independently in the community by providing consultation services, coordinating support resources, and developing service utilization plans.

Through my daily work, I focus on supporting individuals during their transition to community life and helping them maintain stable living conditions after moving into the community. I work closely with local governments, service providers, medical professionals, and families to ensure that support is tailored to each person's wishes and needs.

Outside of work, I enjoy reading, walking, and learning about social welfare systems in other countries, as I believe that understanding different perspectives helps improve my professional practice.

### ②研修テーマについて ※箇条書き可

※海外で具体的に学びたいことを英語で記載してください（箇条書き可）。

テーマ名（英語） : An International Comparison of Consultation Support Systems for Supporting Community Stability of Persons with Disabilities

What I aim to learn through overseas training:

How consultation support systems in other countries support persons with disabilities in maintaining stable community lives

The role and responsibilities of consultation support professionals in supporting community inclusion

Practical approaches to person-centered planning and supported decision-making

How advocacy organizations and consultation support professionals collaborate to protect the rights of persons with disabilities

Systems and frameworks that ensure the independence and quality of consultation support services

# 履歴書

20XX年10月10日

ふりがな	しみず たろう
氏名	清水 太郎
ローマ字 (パスポートと同じもの)	Taro Shimizu
	パスポート <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無

写真を貼る位置  
写真を貼る必要がある場合  
1. 縦 36~40mm  
横 24~30mm  
2. 本人単身胸から上

西暦年	月	学歴 (高校以降)・職歴 (項目別にまとめて書く)
		学歴
20XX	4	〇〇県立〇〇高等学校 普通科 入学
20XX	3	〇〇県立〇〇高等学校 普通科 卒業
20XX	4	〇〇大学 経済学部 入学
20XX	3	〇〇大学 経済学部 卒業
20XX	4	〇〇大学大学院 社会福祉学研究科 入学
20XX	3	〇〇大学大学院 社会福祉学研究科 卒業
		職歴
20XX	4	株式会社〇〇 入社
20XX	3	株式会社〇〇 一身上の都合により退社
20XX	4	社会福祉法人清水福祉会 入社
		障害福祉分野にて相談支援専門員として勤務
		現在に至る
		以上

西暦年	月	免許・資格 (項目別にまとめて書く)
20XX	4	社会福祉士 取得
20XX	4	精神保健福祉士 取得
20XX	6	相談支援専門員 (初任者研修・現任研修) 修了
20XX	2	サービス管理責任者研修 修了

趣味・特技	スポーツ
読書、散歩、神社巡り	ウォーキング、水泳

# 推 薦 状

清水 太郎 氏を清水基金海外研修候補者として推薦します。  
また、採用いただいた場合は、当該職員を当法人より出張等の就労扱いにて海外研修に派遣いたします。

(推薦理由をご記入下さい。)

清水氏は、当法人において相談支援専門員として勤務し、サービス等利用計画の作成や関係機関との調整を通じて、障害のある方が地域で安定した生活を継続できるよう支援してまいりました。本人の意思を尊重した支援姿勢と、関係機関との円滑な連携により、地域における相談支援の中核的役割を担っております。

また、異分野での実務経験および大学院での専門的な学びを背景に、理論と実践の双方から相談支援の在り方を捉え、制度や支援体制に対する高い問題意識を有しています。

本研修で志向する「障害者の地域定着を支える相談支援体制の国際比較」は、同氏の実践課題と強く結びついており、研修成果は当法人のみならず地域全体の支援の質向上に資するものと考えております。

以上の理由から、清水 太郎 氏は貴基金の海外研修にふさわしい人材であると判断し、ここに推薦いたします。

何卒、格別のご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026 年 X 月 XX 日

法人住所 東京都中央区日本橋 3-12-2

法人名 社会福祉法人 清水福祉会

代表者名 理事長 ○○ ○○

